

令和3年10月5日(火) 第4校時

1 単元名 ALPHABET  
 ～アルファベットとなかよし～

指導者：HRT (T1)  
 ALT (T2)  
 HRT (T3)

2 単元の目標

- 身の回りにはアルファベットの文字であらわされているものがあることに気付き、アルファベットの大文字とその読み方に慣れ親しむ。(知識・技能)
- アルファベットの文字の形を意識して、仲間分けをしたり、見つけたりする。(思考力・判断力・表現力)
- 相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、答えたりしようとする。(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やりとり)	ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などを聞くことに慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などの表現を聞き取る技能を身に付けている。	アルファベットが発音されるのを聞いて、仲間分けしたり、どの文字であるか分かっている。	アルファベットが発音されるのを聞いて、仲間分けしたり、どの文字であるかが分かり、友達のアルファベット探しを進んで聞こうとしていたりしている。
話すこと 「やり取り」	〈知識〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などを話すことに慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などの表現を伝え合う技能を身に付けている。	アルファベットの大文字の形を意識して、仲間分けをしたり、アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしている。	アルファベットの大文字の形を意識して、仲間分けをしたり、アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしようとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元は、アルファベットの文字を題材とする初めての単元となる。国語科「ローマ字」の学習では、大文字を書くという経験をしている。その中で、児童はローマ字に興味をもって意欲的に取り組んでいた。そこで、国語科「ローマ字」の学習と社会科の校外学習でローマ字を見つけた経験と関連させながら、アルファベットの大文字の導入をすることで、意欲的に学習に取り組めると考える。また、アルファベットを歌やチャンツ、ゲームなどの様々な活動を通して楽しみながらアルファベットの学習をするようにしたい。

本単元を通して、アルファベットの文字と発音を一致させながら、慣れ親しむことができるようにし、高学年での書く活動に繋げたい。

(2) 児童観 (男子7名 女子2名 計9名)

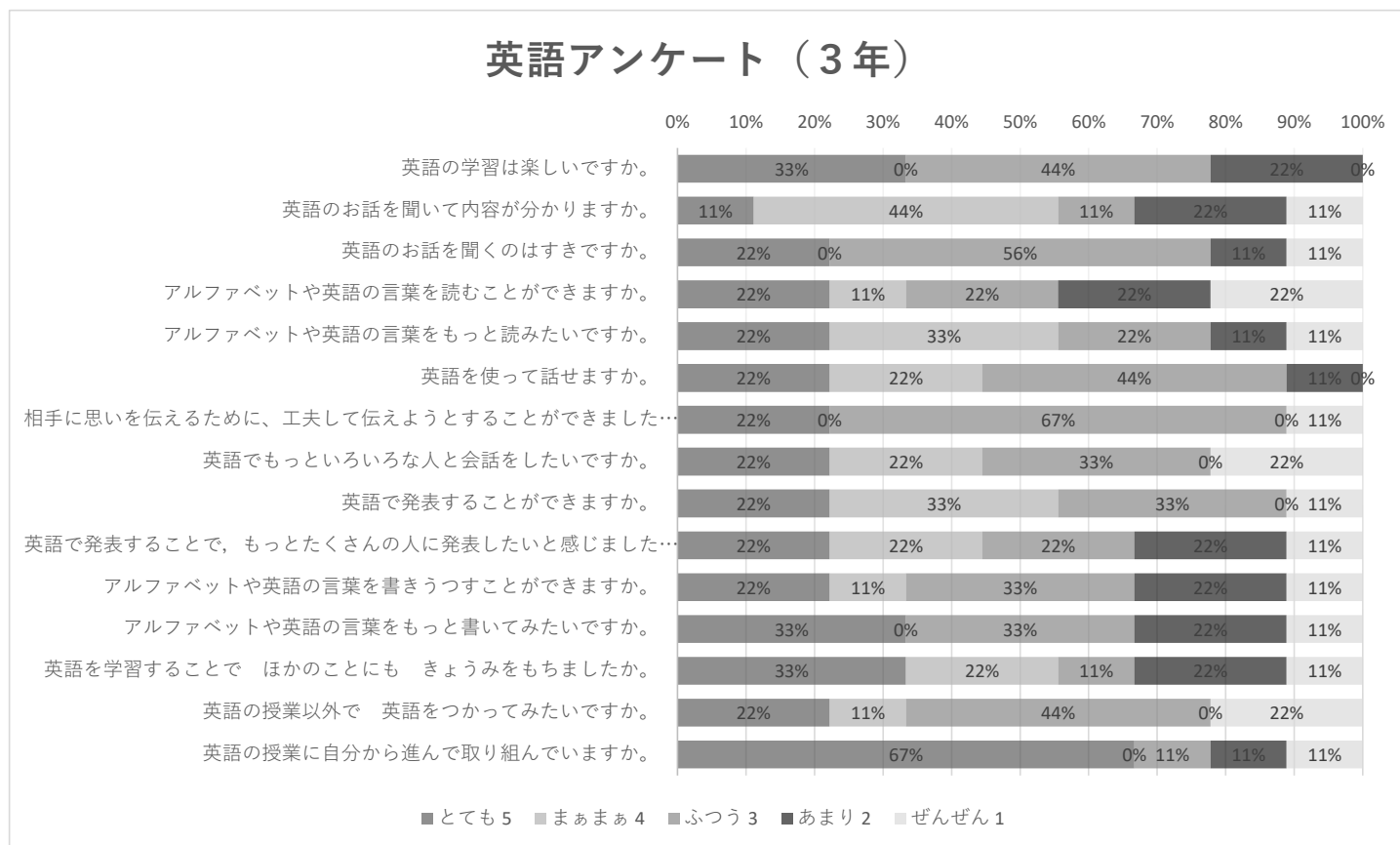
本学級は、全体での活動になると互いに協力し、支え合いながら積極的に学習に取り組む姿が見られる。一方で、個人の活動になると発音しにくい児童もいる。そのため、ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、やり取りを通して自分の思いを表現するための言葉を身に付けられるようにしたい。

今年度5月に行った英語アンケート (図1) では、「内容が分かる」「読むことができる」に対して否定的な回答をしている児童が多いことが分かる。一方で、「英語が楽しい」「話を聞くのが好き」「英語を話せる」に対して肯定も否定もしていない回答をしている児童が多いことが分かる。

そこで、グループやペアでの学習を取り入れたたり、ゲームや歌の活動を増やしたりすることで、自信をもって楽しく学習ができるような工夫をしたい。

本時では、前時で見つけたアルファベットを自分でアルファベット探しにし、出題するという活動を通して、楽しみながら学習するようにしたい。また、ペアでの活動を取り入れることで、自信をもって出題したり答えたりできるのではないかと考える。

※図1：今年度5月に行ったアンケート結果



(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「外国語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を通して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の3つである。

(仮説)

- 1 単元や発達段階の特性を踏まえて学習活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えをもち、それを伝え合おうとするであろう。
- 2 1単位時間または単元の中で、児童自身による評価 (振り返り) や教師による評価を適切に行うことによって、児童は思考力・判断力・表現力を高めながら学習に取り組むであろう。
- 3 学習のつながりを意識して、様々な人々と関わることのできる単元 (新本オリジナル) を構成することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

## 1 について

アルファベットを使って「アルファベットさがし大会」をやるということを単元のゴールにすることで、児童は、目的意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるようになる。また、歌やゲームをするのが好きな児童が多いので、学習も歌やゲームを積極的に取り入れ、楽しんで学習をできるようにしたい。

本時では、アルファベットを見つける活動をクイズとして提示し、意欲的に活動できるようにしたい。ただ、クイズをして楽しかったということで終わらないように、答えることができたアルファベットはアルファベット表に印をつけるようにして、まだ出題されていないアルファベットを視覚的にとらえることで、生活の中でさらに見つけてみたいという意欲付けができるようにしたい。

## 2 について

単元を通して、担任、ALT がそれぞれの観点で感じたことを児童にフィードバックする。主に、担任は単元全体を見通し、前時と比べたときの児童がかかわり合う様子を、ALT は発音や表現について見て、感じたことをその時間の終わりにそれぞれに伝えていく。そうすることで、次回の学習でどんな力をつけたいか、何を話せるようになりたいか、などを児童が考えることができるようにする。

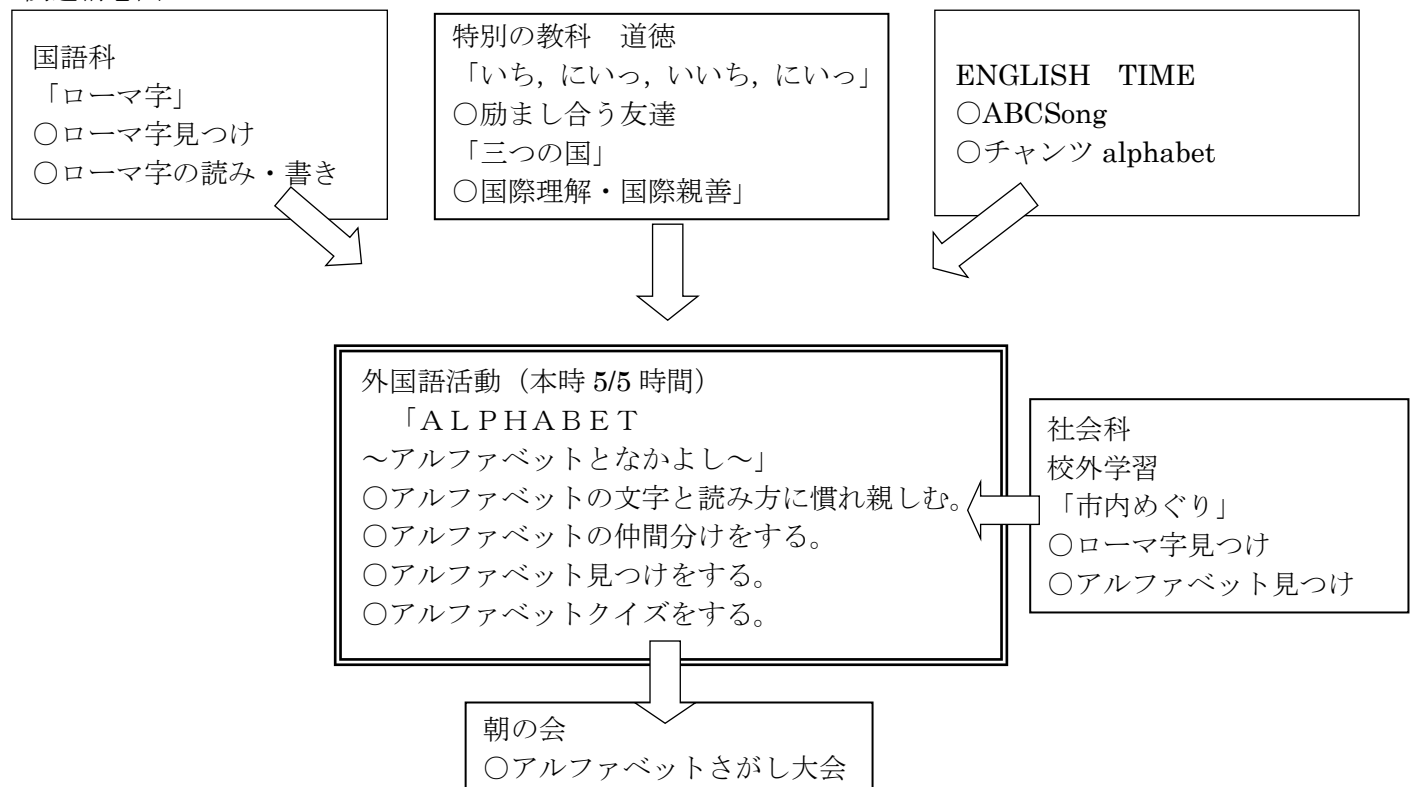
また、振り返りカードを使い、1 時間ごとに達成度を振り返ることで、できたことと次がんばりたいことを自覚できるようにする。振り返りカードには×の評価を付けず、できたことを積み重ねる振り返りとして活用する。そうすることで、自信をもって活動に取り組むことができ、学びに向かう力が高められるようにする。

本時は、アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりする場面である。どうすれば楽しくアルファベット探しができるのか、相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、答えたりすることで、児童の思考力が高められると考える。

## 3 について

国語科「ローマ字」の学習で、アルファベットの大文字は見たり、書いたりした経験がある。また、社会科の見学時にローマ字としてではあるが、アルファベットを見た経験がある。その経験と結びつけ、文字に対するハードルを低くして、この単元に入りたい。身の回りの物の中からアルファベットを見つけ、アルファベット探しを作ることで、より身近に感じられると考える。この単元を通して、アルファベットの文字が身の回りにたくさんあることに気付かせ、さらにアルファベットに興味や関心をもち、自分の生活と結びつけられるようにしていきたい。

## 6 関連構想図



7 本時案

(1)本時のねらい

- ・相手を意識して、アルファベット探しをすることができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT, ◆HRT)	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up "Song" ♪ABC Song♪</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●■英語で挨拶をした後、気分や天気、日付、曜日、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</li> <li>■◆参加しにくい児童や困っている児童に声をかけたり、一緒に声を出したりする。</li> <li>●■しっかり声を出して歌うことで、楽しい雰囲気を作り、学習の意欲を高めるようにする。</li> <li>■◆児童の近くで一緒に歌うことで、安心して活動できるようにする。</li> </ul>	
3 Aim	<p>Aim アルファベットさがし大会をしよう。</p>	
4 Review	<ul style="list-style-type: none"> <li>●楽しくアルファベット探し大会をするために何が必要かを話し合うことで、コミュニケーションポイントやほめ言葉や認め言葉に気を付けるようにする。</li> <li>●■アルファベット探しのやり取りをジェスチャー付きのデモンストレーションで見せることにより、本時の見通しを持つてるようにする。</li> <li>●■アルファベット探しで使う表現の練習をすることで、流れを確認し、安心して活動に参加できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Let's find the alphabet.</li> <li>・ It's ~</li> <li>・ Can you see ~?</li> <li>・ How many ~?</li> <li>・ I can see~.</li> <li>・ That's right! ・ Close!</li> </ul> </div>	<p>◇アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしている。</p> <p>【思・判・表】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やり取り</span></p>
<p>5 Activity</p> <p>・アルファベット探し (1回目)</p> <p>・中間交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●3人グループを、出題者と解答者に分けて行うようにし、順番を決めて他のグループに対して出題したり答えたりする。困ったときは、お互いに助け合うようにする。</li> <li>●タブレット PC を使うことにより、視覚的により充実した活動ができるようにする。 ※一人一台ずつタブレット PC を使い、オクリンクの中で問題を出す。</li> <li>●■◆アルファベット探しで使う表現に困っている時には、一緒に発音するなどの支援をする。</li> <li>■アルファベット探しのヒントを日本語でしている時は、それも認め、英語での表現の仕方を伝えるようにする。</li> <li>●困っているペアには、アドバイスの仕方を知らせるようにする。</li> <li>●答えられたアルファベットは、アルファベット表に印をつけることで、出題されていないアルファベットを探したいという意欲をもたせるようにしたい。</li> <li>●中間交流を行い、楽しくアルファベット探しをしているグループを紹介することで、よさを全体に広げられるようにする。</li> <li>●使えなかった表現やジェスチャーを確認する。</li> <li>●■英語でのほめ言葉を確認し、すでに聞いたり、話したりしている単語でも、相手をほめることができることに気が</li> </ul>	<p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>◇相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、進んで答えたりしようとしている。</p> <p>【主】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やり取り</span></p> <p>&lt;行動観察・書き込み点検&gt;</p>

<p>・アルファベット探し（2回目）</p> <p>6 Comment time</p> <p>7 Greeting</p>	<p>付かせる。 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">・ Great ・ Good ・ Nice</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●相手を替えて問題を出し合い、新しい表現が使えるようにする。</li> <li>■相手に配慮しながら、アルファベット探しをすることができているかを確認しながら、机間指導する。</li> <li>●活動がはやく終わったペアには、教師にアルファベット探しを出すように促す。</li> <li>●振り返りシートに Aim に対する振り返りを記入することで、本時での成長を実感できるようにする。</li> <li>●本時の学習で新たに学んだことや今後生かしていきたいことを記述することで、学びに向かう力を高められるようにする。</li> <li>■◆特に支援を要する児童の様子を見たり、声をかけたりして、活動に参加できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な所にアルファベットが隠れているのが分かった。</li> <li>・ほめる言葉をたくさん使うことで、楽しいアルファベットさがしができた。</li> <li>・まだ、見つけていないアルファベットがあるので、これからも見つけてみたい。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の様子を比べてよくなったところや児童がかかわり合う様子を見て、感じたことを伝え、できるようになった喜びを感じられるようにする。</li> <li>■発音や表現について気付いたことを伝えることで、今後が伸びたいことに気付けるようにする。</li> <li>●■気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>	
--	--	--

(3)板書計画

アルファベット表  
Let 's Try!  
P. 22・23

Aim
アルファベットさがし大会をしよう。

## Let's find the alphabet.

Q: Can you see ~ ?  
A: Yes, I can. / No, I can't.

Q: How many ~ ?  
A: It's ~ .

A: I can see ~ .

○Great !

○Good !

○Nice !

○That's right!
●Close!

Greetings

Warm up

Review

Aim

Presentation

Practice

Activity

Comment time

Greetings

# Unit6 ALPHABET

～アルファベットとなかよし～

Grade

Name

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## がんばるリスト

できた → とてもよくできた

アルファベットさがしに必要な表現を使って、わかりやすく伝えることができる。



アルファベットの大文字を正しく発音することができる。



友達や先生の発音を聞いて言っていることがだいたい分かる。



Date /	Aim	・がんばった・初めて知った・前と比べて ・難しかった・次回は…
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		

この学習を通して学んだこと・感じたこと

〈資料2〉本時で、児童が使うアルファベット表

〈アルファベット表〉

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y
Z				